

令和8年度 独立行政法人統計センター契約監視委員会議事概要

開催日時 及び場所	令和8年5月 25 日(月)14 時 00 分～15 時 30 分 独立行政法人統計センター 第1会議室
メンバー (敬称略)	委 員 長 藤谷 護人 弁護士法人エルティ総合法律事務所 所長(弁護士) 委 員 小笠原 直 監査法人アヴァンティア 法人代表 CEO(公認会計士) 委 員 内野 恵美 内野公認会計士事務所 所長(公認会計士) 委 員 林 奈津子 独立行政法人統計センター監事 委 員 布施 伸枝 独立行政法人統計センター監事
議事次第	1. 開会 2. 議事 (1) 令和7年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画の自己評価について (2) 令和8年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画について (3) 契約監視委員会で審議が必要な契約案件 ① 競争性のない新たな随意契約案件 ② 令和6年度・7年度2か年度連続の一者応札・応募案件 3. 理事長挨拶 4. 閉会
議事概要	1. 令和7年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画の自己評価 ・令和7年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画の自己評価(案)について審議を行い、承認を得た。 2. 令和8年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画 ・令和8年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画(案)について審議を行った結果、一部修正を行い、修正案のとおり承認を得た。 3. 契約監視委員会で審議が必要な契約案件 ・競争性のない新たな随意契約案件について審議を行い、承認を得た。 ・令和6年度・7年度2か年度連続の一者応札・応募案件について審議を行い、承認を得た。

【議事１】令和７年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画の自己評価について	
資料２ 令和７年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画〔自己評価〕（案） 「２ 重点的に取り組んだ分野」	
質問・意見	回答
過去５年の平均（３４．９％）と比較し、一者応札の割合が減少（▲約１０ポイント）している点は非常に評価できる。	今後もPDCAサイクルに基づき、８つの取組を着実に実施していきたい。
「（７）新規参入業者の開拓」における見積依頼を行う業者について、公正性・透明性の確保の観点から選定基準を設けるとよいのではないかな。	「（７）新規参入業者の開拓」は、少額随意契約を対象とした取組であり、事務負担軽減の観点から、主にインターネット検索を活用し、都内で事業を行う業者を中心に見積依頼を行っている。
共同調達における一者応札・応募の改善は国が行っているのか。	契約手続の主体である国においても契約監視委員会と同様の枠組があるため、共同調達における一者応札・応募の改善は国が行っているものと認識している。
オンラインを活用し、配信形式で開札手続を実施できないのか。	国の電子入札システム（政府電子調達）と同等のシステムを導入することはコストが割高となるため難しいが、先々にはオンラインを活用した方法を検討する必要があると認識している。
電子メールによる入札はどの程度活用されているのか。	応札事業者のうち、６割程度が電子メールによって入札手続を行っている。

【議事２】令和８年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画について	
資料３ 令和８年度独立行政法人統計センター調達等合理化計画（案） 「２ 重点的に取り組む分野」	
質問・意見	回答
「（７）新規参入業者の開拓」及び「（８）オープンカウンター」については、少額随意契約を対象とした取り組みであることが明確となるよう文章を修正した方がよい。	ご指摘のとおり修正する。

【議事 3】 契約監視委員会で審議が必要な契約案件

資料 4 令和 7 年度競争性のない新たな随意契約

質問・意見	回答
文書管理システムを継続して利用する理由として、切り替えた場合の多大な費用の発生と新たな機能を追加する必要性がない旨を挙げている。 システム切り替えの検討においては、QCD、つまりコスト(Cost)、品質(Quality)及び納期(Delivery)といった観点がある。 コストや品質の面から現行維持とすることもよいが、AIを活用したより高品質なシステムに切り替えることを検討するなど固定観念にとらわれずともよいのではないか。 この点はストレス診断ソフトウェアも同様である。	ご指摘の点については承知した。

資料 5 令和 6 年度・7 年度 2 か年度連続の一者応札・応募案件

質問・意見	回答
なし	—